**科目名　日本語資格対策Ⅱ（上級）**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **担当教員** |  | | | | |
| **科目の種類** | 一般 | **単位区分** | 必須 | **単位数** | 2単位 |
| **授業方法** | 講義 | **開講学期** | 後期 | **学年** | 3年 |
| **学科・コース** | メディアコミュニケーション・スポーツテクノロジー学科 | | | | |

**授業概要**

日常生活場面で使われる日本語に加え、より幅広い場面で使われる日本語を身に着け、日本語能力試験N2に合格し、N1合格への足掛かりを作ることを目的としたもの

**カリキュラムにおけるこの授業の位置付け**

日本語学校で身に着けた初級日本語を基礎とし、さらにより幅広い場面で使われる日本語を身につけ、日本語による専門的な学習や業務に取り組むための基礎作りの最終段階に当たるものである。

**授業項目**

(1)　文法④判断・意志

(2)　文法⑤様子・特徴

(3)　文法⑥対比・例示

(4)　文法⑦評価・見方

(5)　文法⑧理由・根拠

(6)　文法⑨気持ち・感情

(7)　模試①

(8)　模試②

(1)　実践力アップ①いろいろな書類の読み取り、書き方

(2)　実践力アップ②ニュースの読み取り、意見述べ

(3)　実践力アップ③ロジカルトレーニング①

(4)　実践力アップ④ロジカルトレーニング②

(5)　実践力アップ⑤ロジカルトレーニング③

(6)　実践力アップ⑥報告書の書き方

(7)　実践力アップ⑦ビジネス日本語①

(8)　実践力アップ⑧ビジネス日本語②

**授業の進め方**

授業時間内には講義と演習を交互に行う．ほぼ毎回，授業終了時に小テストを課す。

**授業の達成目標（学習・教育到達目標との関連）**

上級レベルの日本語の言語知識に触れ始め、やや専門的な長い文章や会話もある程度理解できるようになる。

日本語能力試験N2からN1に合格し、専門的な内容に対しても抵抗なく取り組めるようになる。

**成績評価の基準および評価方法**

日本語能力試験受験結果（80%）、出席率および授業態度（20%）として評価

**教科書**

学生のレベルに応じて講義資料を配布し，その資料に沿って授業を進める。

**参考書**

日本語能力試験対策問題集など。

**実務経験**

**備考**

特になし